

「第 12 回環日本海環境協力会議」
富山市長挨拶

各国代表の皆様、私は富山市長の森でございます。

第 12 回環日本海環境協力会議の富山市開催にあたりまして、一言ごあいさつをさせていただきます。

皆様、ようこそ富山市へお越しくださいました。

環日本海環境協力会議は、中国、モンゴル、韓国、ロシア及び日本の 5 カ国が北東アジア地域の環境問題に関する情報交換及び政策対話を行なう場として、平成 4 年度の第 1 回会議以来毎年開催されているものであり、第 12 回目の会議が、ここ富山市で盛大に開催されますことを、富山市民を代表して心からご歓迎を申し上げます。

さて、地球温暖化、海洋汚染、オゾン層の破壊など地球規模での環境問題は、グローバル化した現代文明が直面している人類史上最も難しい問題のひとつであることから、安全で健康かつ快適な生活を営むことができる良好な環境を確保し、子孫に引き継いでいくことが人類共通の重要な課題であると考えております。

その解決のためには、各諸国、地域、団体が連携協力し、国際的な取組みを推進するとともに、各国それぞれの地域における取組みが重要であります。

そのことから、本市におきましては「環境基本条例」を制定するとともに、「環境にやさしい循環型のまちづくり」等を基本目標とした「環境基本計画」を策定したところであり、その推進にあたっては、市民・事業者・行政それぞれが、環境保全に対する理解を深め、家庭・地域・事業者等で環境にやさしい行動や取組みを進めているとことでもあります。

このような中で、本会議が本日から 3 日間、本市で開催されますことは、誠に意義深いものがあり、これまでの皆様方の研究や活動の成果を踏まえ、十分な議論を深められて実り多い会議となりますよう、ご期待しているところであります。

富山市は、現在、人口約 32 万人余りで 1600 年代初期からの積極的な産業政策により、富山売薬などの独自の産業や北前船による物流交流も盛んになり、近世城下町として発展し、市制施行後は、市民の努力と都市計画の施行、産業振興の取組みなどにより、商工業の発展と文化の香り高い近代都市として飛躍を続けております。

また、東に雄大な北アルプス立山連峰を仰ぎ、北は「海の幸の宝庫」富山湾に面する水と緑に恵まれた自然豊かな住み良い都市です。

さらに、姉妹友好都市との経済・文化・医療・農業等各分野での交流や国際人にふさわしい人材の育成、市民による草の根レベルでの国際交流活動の推進など、国際化時代に対応したまちづくりを進めています。

皆様方には、折角の機会でございますので、本市の美しい自然や旬の味等にも接していただければ、幸いに存じます。

最後になりましたが、本会議の開催にあたりまして、ご支援・ご協力をいただきました関係者の皆様に厚くお礼と感謝を申し上げますとともに、今後皆様方のますますのご活躍とご健勝を祈念いたしまして、地元富山市からのごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

二〇〇三年十一月二十四日

富山市長 森 雅 志